

へ七年斗争に至る学園斗争の一環としての教育大斗争の任務となつた。我が教育斗争は、最初的方同様、撃沈せりがれはまうむいが、その所れは、筆者（教育大内部の情勢）が向て大学当局推進主義（金井三郎）の手を取る事と云ふ事で、教育大斗争を明確に、七〇年を以て斗争の時機内にいた瑞実の行動斗争（一九〇六年）から、既に昨年段階からせの斗争（一九〇九年）に至る学生運動の基本路線を、「國占権起して而ハ復せならん」とし、吃のことのみが教育斗争が「個別改良斗争の体をして存する」ことを可能とするのである。これが其特徴は、既に昨年段階からせの斗争（一九〇九年）に至る学生運動の基本路線を、「國占権起して而ハ復せならん」とし、吃のことのみが教育斗争が「個別改良斗争の体をして存する」ことを可能とするのである。これが其特徴は、

有していることをみてとらんが
でさるし、ここに九年に至る階級
斗争において学生運動の基軸正に
国斗争に設定する意義を存在して
いる。かくも学園斗争の意義を理
解する一ことがでさず、全人民的教
育政治斗争といふ恐しく重きし
スローガンを掲げゝのも、基本的
に学园斗争を教育斗争の枠の中へ
おこし、これよりとする超宗派主義的
非階級的情勢分析主義者フロント
諸君（彼らは日帝の最も弱い環は
求であることを張り、マクナマラ戦
勝からアーヴィング成駆への変更
等といふことをあたかも階級情勢
にとつて大駆なことであるとのよ
うに云つていていたにもかかわらず、
一たび学园斗争が激發するや否や
日帝の弱い環は教育であると云い
始めているのだ）あるいは、学园
斗争の階級的歴史を分析した
「大衆運動」と「革命運動」の区
別と通じなどと称して、方向性を
表し、「原則主義」でそれを陰謀
し、これまで「教育斗争」等と云
つてゐる革マル派諸君は、所詮、
70年に至る階級斗争・学生運動
から、脱落していく存在でしか
ありえない。

授業再開を実力で粉碎せよ！

学園を奪還し、永続的大学占拠斗争を実現せよ！
大学斗争から七十一年安保粉碎斗争へと決起せよ！

あらざれうとする超実業主義的
階級的情勢分析主義者フロンティア
諸君（彼らは日帝の最も弱い環は
ある）王張し、マクナマラ威
嚇（わが）リフォード威嚇への変更
等といふことをあたかも階級情勢
にとつて太々りことであるかのよ
うに云つていてもかくわらず、
一たび當回国斗争が激化するや否や
日帝の弱い環は教育であると云い
始めているのだ（あるいは、當回国
斗争の階級的意味を分析した
「大衆運動」と「革命運動」の区
別と通じなどと称して、方向性を
表し、「原則主義」でそれを陰謀
し、これまで「教育斗争」等と云
つてゐる事マル派諸君は、所詮、
70年に至る所縁斗争・學生運動
から、脱落していく存在でしか
ありえない。

我々は、教育大に於ける「正常化」策動、授業再開を断固として粉碎し、再度の大学占拠斗争を実現してゆかねばならない。

65学園斗争の點擧に懲感せしめられたアルショアシーは、現在帝大主義的内体制再編の一環としての大學生編に向けた大學「改革案」を打ち出してきている。この大学「改革案」は、大學をアルショアシーのヘラモニー機関として完全に体制内的に統合せんとするもの。他ならず、これに對決する斗いを大學の构造内部に形成し、校内斗争へと展開することこそ、69年学園斗争の任務だ他ならぬ。